

## 平成 30 年度「水戸市まち・ひと・しごと創生総合戦略」事業評価等

### 1 総合戦略における事業

「水戸市まち・ひと・しごと創生総合戦略」は、人口減少社会の進展に対応し、選ばれる魅力あるまちの構築に向けた計画として 2015（平成 27）年度に策定するとともに、位置付けた取組を進めてきたところである。人口については、計画策定時 270,783 人（平成 27 年 10 月 1 日現在）から、微増、微減を繰り返し、270,289 人（平成 30 年 10 月 1 日現在）となっており、概ね維持している。

計画の 4 年目となる 2018（平成 30）年度においては、総合戦略における事業 152 事業、具体的事業 263 事業を実施したところであり、実施した事業の評価及び検証した結果（事業評価）は以下のとおりである。全体として、約 7 割の事業において進捗が図られており、期待値に達した項目は約 4 割となっていることから、本事業評価を反映させながら、さらなる取組の強化を図り、総合戦略を推進していくこととする。あわせて、本評価の検証を踏まえ、2020（令和 2）年度を初年度とする第 2 次の総合戦略の策定につなげていくこととする。

### 2 評価の対象年度 2018（平成 30）年度

### 3 事業の実施状況

基本目標	具体的施策	総合戦略における事業数		具体的事業数
		計画	実施	
Ⅰ 生き生きと働ける しごとを創る	(1) 地域経済をけん引する産業競争力の強化	9	9	15
	(2) 観光産業の振興，観光消費の拡大	17	17	31
	(3) 多用な雇用の場の創出	13	13	19
	(4) 女性や高齢者等の活躍支援	4	4	9
Ⅱ 新たなひとの流れを 生み出す	(1) 水戸への移住・定住の推進	5	5	9
	(2) 芸術文化・スポーツ文化の交流によるにぎわいの創出	12	12	18
	(3) 水戸らしい風格ある歴史まちづくりの推進	8	8	11
	(4) 水と緑の潤いある拠点の形成	7	7	11
Ⅲ 水戸の未来をリード する若い世代の夢や 希望を応援する	(1) 若い世代へのキャリア支援の推進	11	11	19
	(2) 安心して子どもを生み育てることのできる環境の充実	9	9	28
	(3) 未来を切り拓く力を育む水戸スタイルの教育の推進	15	15	16
	(4) ワーク・ライフ・バランスの推進	3	3	9
Ⅳ 安全で安心，誰もが快 適に暮らせるまちを 創る	(1) 都市機能の集積と交通ネットワークの形成	11	11	17
	(2) 既存ストック（住宅等）の再生，利活用	5	5	10
	(3) 住み慣れた地域で暮らし続けられる環境づくりの推進	15	15	26
	(4) 危機対応力・防災力の高い体制づくりの推進	5	5	8
	(5) 自主・自立性の強化と広域連携による都市力向上	3	3	7
	計	152	152	263

※複数の具体的施策で掲載された同一の事業（再掲の事業）についても、事業数としてカウントする。

#### 4 重要業績評価指標（KPI）の進捗

##### 〈基本目標Ⅰ 生き生きと働けるしごとを創る〉

数値目標	(基準値)	(目標値)
○市内事業所数	14,357 事業所	→ 14,550 事業所
○市民所得	999,984 百万円	→ 1,080,000 百万円

○達成状況の算出方法

$$\text{達成状況}(\%) = \frac{\text{実績値} - \text{基準値}}{\text{目標値} - \text{基準値}} \times 100$$

##### 具体的施策（1）地域経済をけん引する産業競争力の強化

##### 重要業績評価指標（KPI）

項目	基準値 (2014年度)	期待値	実績値	目標値	達成状況
		(2018年度)	(2018年度)	(2019年度)	(2018年度)
マッチング会参加企業数（累計）	—	160社	120社	200社	60%
商店街活性化事業に取り組む団体数（年間）	10団体	14団体	14団体	15団体	80%

項目	達成度	評価
マッチング会参加企業数（累計）	B	金融機関等主催のビジネスマッチング会への参加促進に取り組むとともに、販路拡大や新商品開発に向けた支援制度を新設した。参加企業数が増加しており、引き続き、金融機関との連携を強化しながら、さらなる周知とあわせ参加促進を図るほか、新たな支援制度の活用を促進し、産業交流機会を創出する必要があるものと評価する。
商店街活性化事業に取り組む団体数（年間）	A	商店街の活力向上に向けた支援制度を活用し、商店街のにぎわいを創出するための事業や空き店舗対策事業などに取り組む団体が増加しており、商店街活性化に寄与することができたものと評価する。
2018（平成30）年度の取組事業		取組の概要等
<ul style="list-style-type: none"> <li>産業交流機会の創出</li> <li>技術力、競争力強化・支援</li> <li>商店街活性化の推進</li> <li>既存事業者の事業拡充等への支援</li> <li>6次産業化の推進</li> <li>農産物のブランド化の推進</li> <li>地産地消の推進</li> <li>優良農地の維持・保全</li> <li>住宅リフォームの促進</li> </ul>		<p>【主な事業の概要】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>「産業交流機会の創出」として、金融機関等主催のビジネスマッチング会への参加促進や開催状況調査等を実施するとともに、販路拡大や新商品開発を促進するための支援制度を新設し、3社のマッチングを支援した。</li> <li>「商店街活性化の推進」として、商店街の活力やにぎわいを創出するための事業や広報宣伝、空き店舗対策事業などに取り組む団体に対し、補助金などによる支援を行った。</li> </ul>
<p>【総合戦略における事業の実施割合】</p> <p>実施事業数/計画事業数=9/9</p>		<p>2019（令和元）年度の取組方針</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>ビジネスマッチング会については、金融機関を主体として開催されており、引き続き、金融機関等と連携を図りながら、市内企業の参加を促進するほか、市内での開催を検討する。また、新たな支援制度の活用を促進し、販路拡大や新商品開発の支援など、産業交流機会の拡大を図るとともに、産業活性化コーディネーターの増員及び水戸商工会議所との連携により、既存企業の経営力強化に向けた取組を支援する。</li> <li>商店街活性化事業について、商店街のにぎわい創出に寄与するため、継続して実施することとするが、事業内容の恒常化が見られることから、より効果的な事業が実施されるよう、支援制度の活用を促進する。</li> </ul>

具体的施策（２） 観光産業の振興，観光消費の拡大

重要業績評価指標（KPI）

項目	基準値 (2014年度)	期待値	実績値	目標値	達成状況
		(2018年度)	(2018年度)	(2019年度)	(2018年度)
梅まつり入込観光客数	522,800人	624,560人	523,100人	650,000人	1%
市内外国人宿泊者数（年間）	15,421人	17,804人	36,001人	18,400人	691%

項目	達成度	評価
梅まつり入込観光客数	C	期待値には達しなかったものの、積極的なPR活動や新たなイベントの実施により観光客数の増加が図られており、今後も新たな企画の導入や他イベントとの連携など、さらなる内容の充実を図る必要があると評価する。
市内外国人宿泊者数（年間）	A	体験型観光プログラムの情報発信をはじめ、台湾における本市単独による商談会の開催、多言語チラシによる各種まつりの国外旅行会社への紹介など積極的なプロモーションやPR活動等により、外国人宿泊者数の増加に寄与したものと評価する。
2018（平成30）年度の取組事業		取組の概要等
<ul style="list-style-type: none"> <li>・偕楽園・千波湖周辺の魅力づくりの推進</li> <li>・弘道館・水戸城跡周辺の魅力づくりの推進</li> <li>・ロマンチックゾーンの魅力づくりの推進</li> <li>・森林公園周辺における自然資源等を活用した魅力づくりの推進</li> <li>・まちなかイベントの開催</li> <li>・戦略的イベントの展開と各種まつりの充実</li> <li>・水戸の花絵巻事業の推進</li> <li>・回遊性を高める機能強化と魅力づくりの推進</li> <li>・広域連携による観光地づくりの推進</li> <li>・国際観光の推進</li> <li>・体験・交流型観光の充実</li> <li>・コンベンション誘致活動の推進・強化</li> <li>・観光特産品の魅力向上と観光産業の強化・育成</li> <li>・多様な情報発信の推進</li> <li>・戦略的な観光PR活動の推進</li> <li>・フィルムコミッションの充実</li> <li>・おもてなし力の向上</li> </ul>		<p>【主な事業の概要】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・「戦略的イベントの展開と各種まつりの充実」として、梅まつりにおいて、関連イベント（刀剣コラボ、梅酒まつり、夜・梅・祭等）のほか、豪華観光列車の運行による誘客や水戸をイメージしたデザインで制作した提灯の観光客への無料貸出しなど、新たな取組を行った。また、トップセールスをはじめとしたPR活動とあわせ、テレビやラジオ、YouTube等の各種メディアの積極的な活用を図った。</li> <li>・「国際観光の推進」として、体験型観光プログラムの周知をはじめ、外国語版（繁体字）Facebook等による情報発信、台湾における国際旅行博への参加、商談会の開催（本市単独）、多言語チラシによる各種まつりの国外旅行会社へのPR、市内事業者向けのインバウンドセミナーの実施など、インバウンド観光に資する取組を行った。</li> </ul>
		2019（令和元）年度の取組方針
		<ul style="list-style-type: none"> <li>・梅まつりをはじめとしたイベント開催は本市観光客誘致に大きな役割を果たすものであるため、継続実施するとともに、県と連携し、偕楽園・千波湖周辺の魅力づくりを推進する。なお、梅まつりなどにおいて、水戸の「食」と「夜」に焦点をあてたイベントを開催するなど、企画内容の充実に向けた取組を進める。</li> <li>・水戸観光コンベンション協会を中心に水戸市インバウンド推進機構を設立し、官民一体となって、「情報収集、連携強化」「受入環境充実、新規コンテンツ開発」「PR強化」に取り組むことにより、外国人観光客のさらなる誘客促進を図る。また、水戸・笠間・大洗観光協議会をはじめ、広域での連携のもと、旅行会社へ積極的に観光情報を提供するなど、様々な観光需要の掘り起こしや観光資源のPRに努める。</li> </ul>
<p>【総合戦略における事業の実施割合】</p> <p>実施事業数/計画事業数=17/17</p>		

具体的施策（3） 多様な雇用の場の創出

重要業績評価指標（KPI）

項目	基準値 (2014年度)	期待値	実績値	目標値	達成状況
		(2018年度)	(2018年度)	(2019年度)	(2018年度)
創業支援事業計画推進事業等による新規創業件数（累計）	41件	168件	323件	200件	177%
企業誘致による立地事業所数（累計）	—	20事業所	15事業所	25事業所	60%

項目	達成度	評価
創業支援事業計画推進事業等による新規創業件数（累計）	A	創業支援ネットワーク協議会の開催による情報の共有や、みと創業支援塾をはじめとする関係機関における創業セミナーの開催などの取組により、目標値を上回る新規創業件数に至ったものと評価する。
企業誘致による立地事業所数（累計）	B	企業誘致コーディネーターを配置し、企業立地の補助制度及び税の課税免除制度を活用した誘致活動を行った成果として、立地事業所数が増加しており、引き続き、新規雇用の創出に向けた取組を進めていく必要があるものと評価する。

2018（平成30）年度の取組事業	取組の概要等
<ul style="list-style-type: none"> <li>・創業支援の充実</li> <li>・店舗開業・出店の推進</li> <li>・企業誘致の促進</li> <li>・ベンチャービジネスの育成・支援</li> <li>・産学官連携による産業の活性化</li> <li>・UJIターンの促進</li> <li>・地元企業の雇用の促進</li> <li>・遊休不動産を活用したにぎわいづくりの推進</li> <li>・認定農業者等担い手の確保・育成</li> <li>・医療・福祉分野における人材の確保、雇用の促進</li> <li>・産婦人科等の医師の確保</li> <li>・看護師の確保</li> <li>・介護従事者の確保</li> <li>・保育士の確保</li> </ul>	<p><b>【主な事業の概要】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・「創業支援の充実」として、水戸商工会議所等との連携のもと、市内の創業支援事業者により構成される創業支援ネットワーク協議会、みと創業支援塾、関係機関における創業セミナーを開催した。また、創業後5年以内の創業者を対象とした補助制度を創設し、継続的な支援を行った。</li> <li>・「企業誘致の促進」として、市外からの移転立地等に向け、企業誘致コーディネーターを配置し、企業立地の補助制度及び税の課税免除制度の活用促進を図るとともに、誘致活動を実施した。</li> </ul>
	2019（令和元）年度取組方針
	<ul style="list-style-type: none"> <li>・創業支援事業者間で情報を共有することから、創業者へ切れ目のない支援を行うことができることから、本事業を継続して実施する。今後は、各関係機関における新たな支援の取組について取りまとめを行うなど、より一層の連携を図る。</li> <li>・企業誘致については、経済の活性化、就業機会のさらなる拡充に寄与することから、事業を継続して実施することとするが、誘致先となる一定規模以上の工業用地が不足しているため、引き続き、対応方策の検討を進める。</li> </ul>

**【総合戦略における事業の実施割合】**  
 実施事業数/計画事業数=13/13

具体的施策（４） 女性や高齢者等の活躍支援

重要業績評価指標（KPI）

項目	基準値 (2014年度)	期待値	実績値	目標値	達成状況
		(2018年度)	(2018年度)	(2019年度)	(2018年度)
政策決定過程に参画する女性の割合 (審議会等女性委員割合)	31.2%	34.2%	35%	35%	100%
スキルアップセミナー参加者数 (年間)	40人	88人	61人	100人	35%

項目	達成度	評価
政策決定過程に参画する女性の割合（審議会等女性委員割合）	A	審議会等に参画する女性委員の割合の向上に向け、「水戸市男女平等参画推進基本計画」、「水戸市附属機関の設置及び運営に関する指針」を基本とした全庁的な取組により、目標値に達する割合に至ったものと評価する。
スキルアップセミナー参加者数（年間）	C	期待値には達しなかったものの、新たな企画の実施により、参加者数の増加が図られつつあり、引き続き、勤労者や就労希望者のニーズ等を踏まえた企画内容の充実を図る必要があるものと評価する。
2018（平成30）年度の取組事業		取組の概要等
<ul style="list-style-type: none"> <li>女性の活躍推進に向けた環境づくり</li> <li>オープンデータ活用による女性の活躍の支援</li> <li>中高年齢者、若年者及び女性等の雇用の促進</li> <li>障害者の雇用の促進</li> </ul>	<p><b>【主な事業の概要】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>「女性の活躍推進に向けた環境づくり」として、政策決定過程への女性参画拡大のため、新たに設置する審議会等において、積極的な女性委員の登用を引き続き行うとともに、女子大学生が市政の意思決定の場を体験する女性議会を開催した。また、女性起業家によるセミナー及び相談・交流会、キャリアセミナー、女性活躍推進ガイドブック研修会などを実施した。</li> <li>「中高年齢者、若年者及び女性等の雇用の促進」として、新たに、接遇力・提案力向上セミナーを開催するとともに、就労支援・事業情報発信サイトわーく・さいと・みとの運営などを通し、中小企業と就労希望者のマッチングの場を提供する取組などを実施した。</li> </ul>	
<p><b>【総合戦略における事業の実施割合】</b> 実施事業数/計画事業数 = 4 / 4</p>		<p>2019（令和元）年度取組方針</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>政策決定過程への女性参画拡大及び女性の視点をまちづくりに反映させるため、行政懇談会やキャリアセミナーを開催するとともに、引き続き、審議会等の女性委員の割合を高めるための全庁的な取組を推進する。</li> <li>スキルアップセミナーについて、中高年齢者、若年者及び女性の勤労者等の能力向上に効果的な事業であることから、広く情報発信を行うとともに、ニーズを踏まえた内容への充実を図りながら、継続して実施する。また、女性の活躍推進に向けた環境づくりを計画的に実施する。</li> </ul>

## 〈基本目標Ⅱ 新たなひとの流れを生み出す〉

数値目標	(基準値)		(目標値)
○社会増（人口動態）	88人	→	600人
○観光交流人口	3,426,000人	→	4,090,000人

### 具体的施策（１） 水戸への移住・定住の推進

#### 重要業績評価指標（KPI）

項目	基準値 (2014年度)	期待値	実績値	目標値	達成状況
		(2018年度)	(2018年度)	(2019年度)	(2018年度)
中心市街地（都市核）の居住人口	17,297人	18,499人	16,834人	18,800人	-31%
まちなか住替え支援事業利用件数（累計）	—	224件	43件	280件	15%

項目	達成度	評価
中心市街地（都市核）の居住人口	D	まちなか住替えの支援や住生活支援情報の提供などを実施したものの、期待値には達しなかったことから、要因を十分検証し、効果的に取り組んでいく必要があるものと評価する。
まちなか住替え支援事業利用件数（累計）	C	期待値には達しなかったものの、子育て世帯まちなか住替え支援制度の周知に努めたことにより、利用件数の増加が図られており、一層の利用促進に向けた取組を進めていく必要があるものと評価する。
2018（平成30）年度を取組事業		取組の概要等
<ul style="list-style-type: none"> <li>まちなか住替えの支援</li> <li>住宅リフォームの促進</li> <li>住生活支援情報の提供</li> <li>民間住宅活用型市営住宅の供給</li> <li>まちなか共同住宅の整備の促進</li> </ul>		<p><b>【主な事業の概要】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>「まちなか住替えの支援」として、平成29年度に創設した子育て世帯まちなか住替え支援事業により、43件の補助を実施した。</li> <li>「住生活支援情報の提供」として、茨城県居住支援協議会に参画し、住宅確保支援について、住宅関連団体等と情報交換を行ったほか、市民向けの制度周知イベントとしてマイホーム活用セミナーを開催した。</li> <li>「まちなか共同住宅の整備の促進」について、応募期間を定めず、共同住宅を整備する事業者の募集を行ったが、採択には至らなかった。</li> </ul>
<p><b>【総合戦略における事業の実施割合】</b> 実施事業数/計画事業数=5/5</p>		<p><b>2019（令和元）年度を取組方針</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>中心市街地の居住人口の増加に向け、各種支援制度の周知に努めるとともに、関係団体に対して住生活支援情報の提供などを継続して実施する。また、新たに県と連携して実施する、東京圏からの移住支援事業を活用し、居住人口の増加を図るとともに、立地適正化計画の居住誘導区域を設定したことに伴い「まちなか住替えの支援」の対象区域の見直しを行う。</li> </ul>

具体的施策（２） 芸術文化・スポーツ文化の交流によるにぎわいの創出

重要業績評価指標（KPI）

項目	基準値 (2014年度)	期待値	実績値	目標値	達成状況
		(2018年度)	(2018年度)	(2019年度)	(2018年度)
大規模スポーツ大会（東日本大会以上）の開催数（年間）	9大会	12大会	10大会	13大会	25%
コンベンション誘致・支援数（年間）	57件	75件	146件	80件	387%

項目	達成度	評価
大規模スポーツ大会（東日本大会以上）の開催数（年間）	C	期待値には達しなかったものの、国際・全国規模の大会やスポーツイベントの開催・誘致に取り組んだことにより、開催数が増加しており、引き続き、関係機関・団体等との連携を進め、コンベンション推進体制の一層の強化を図る必要があるものと評価する。
コンベンション誘致・支援数（年間）	A	専門研修に参加し、人材育成を行うなどコンベンション誘致に向けた営業手法の高度化を図るとともに、戦略的な営業活動等を積極的に展開した成果があったものと評価する。
2018（平成30）年度の取組事業		取組の概要等
<ul style="list-style-type: none"> <li>・市民主体の芸術文化活動の促進</li> <li>・水戸芸術館を中心としたまちなぎわいづくりの推進</li> <li>・水戸芸術館パートナーシップ制度の導入、推進</li> <li>・オセロの聖地・みと・発信プロジェクトの推進</li> <li>・水戸ならではのスポーツ大会の開催</li> <li>・水戸黄門漫遊マラソンの開催</li> <li>・第74回国民体育大会の開催に向けた取組の推進</li> <li>・コンベンション誘致活動の推進・強化</li> <li>・スポーツ施設・環境の充実</li> <li>・（仮称）東部公園の整備</li> <li>・新たな市民会館の整備</li> <li>・泉町1丁目北地区市街地再開発事業等の推進</li> </ul>	<p><b>【主な事業の概要】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・スポーツ大会については、市民がトップレベルの競技にふれることのできる機会の拡充に向け、国際・全国規模の大会やスポーツイベントの開催・誘致に取り組んだ。また、コンベンション誘致推進会議を開催し、市及び外郭団体との連携を図った。</li> <li>・「コンベンション誘致活動の推進・強化」として、MICE（※）関係の専門研修に参加し、人材の育成及び営業手法の高度化を図るとともに、茨城県MICE誘致推進協議会に参加し、アフターコンベンション等の広域的な支援に向けた連携体制づくりに努めた。また、県内主要団体に加え、都内への営業訪問も継続的に行うなど、マーケティングの手法を導入した誘致・支援活動を積極的に実施した。</li> <li>・また、コンベンション開催支援をはじめ、キーパーソン招請事業、資源調査の実施、大会・学会データベースへの各種情報の蓄積・活用などを行った。</li> </ul> <p>※MICE：企業等の会議(Meeting)、企業等が行う報奨・研修旅行(Incentive Travel)、国際機関・団体、学会等が行う国際会議(Convention)、展示会・見本市及びイベント(Exhibition/Event)の頭文字のことであり、多くの集客交流が見込まれるビジネスイベントなどの総称。</p>	
		2019（令和元）年度の取組方針
<p><b>【総合戦略における事業の実施割合】</b> 実施事業数/計画事業数=12/12</p>		<ul style="list-style-type: none"> <li>・類似都市規模の先進地コンベンション推進組織と比較し、団体や大会の情報数、人材の育成及び助成金支援策などが課題となっているため、コンベンション誘致推進会議において、連携を強化するほか、アダストリア みと アリーナを活用しながら、スポーツを含めたコンベンション誘致活動の拡充を図る。</li> </ul>

具体的施策（3） 水戸らしい風格ある歴史まちづくりの推進

重要業績評価指標（KPI）

項目	基準値 (2014年度)	期待値 (2018年度)	実績値 (2018年度)	目標値 (2019年度)	達成状況 (2018年度)
偕楽園の年間入込観光客数（年間）	958,213人 (2014年)	1,087,643人 (2018年)	974,040人 (2018年)	1,120,000人 (2019年)	10%
弘道館の年間入込観光客数（年間）	58,886人 (2014年)	99,777人 (2018年)	87,164人 (2018年)	110,000人 (2019年)	55%

項目	達成度	評価
偕楽園の年間入込観光客数（年間）	C	期待値には達しなかったものの、偕楽園・千波湖周辺エリアにおける多様なイベントの開催、効果的なPR活動の展開をはじめ、ライトアップ事業や偕楽園公園（千波公園等）整備に取り組んだことにより、年間入込観光客数が増加しており、引き続き、さらなる魅力づくりを図る必要があるものと評価する。
弘道館の年間入込観光客数（年間）	B	弘道館・水戸城周辺エリアにおける歴史まちづくりを推進したことにより、年間入込観光客数が増加しており、引き続き、さらなる魅力づくりを図る必要があるものと評価する。
2018（平成30）年度 of 取組事業		取組の概要等
<ul style="list-style-type: none"> <li>・偕楽園・千波湖周辺の魅力づくりの推進</li> <li>・弘道館・水戸城跡周辺の魅力づくりの推進</li> <li>・ロマンチックゾーンの魅力づくりの推進</li> <li>・世界遺産登録に向けた取組の推進</li> <li>・魅力ある景観の形成</li> <li>・偕楽園公園（千波公園等）の整備</li> <li>・弘道館・水戸城跡周辺地区における歴史まちづくりの推進（歴史・観光ロード整備等）</li> <li>・ロマンチックゾーン（保和苑）の整備</li> </ul>		<p><b>【主な事業の概要】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・「偕楽園・千波湖周辺の魅力づくりの推進」、「偕楽園公園（千波公園等）の整備」として、桜まつり期間中のライトアップに加え、県が通年で実施した偕楽園南崖のライトアップも含めた魅力づくりを推進するとともに、梅の開花状況やイベント情報について細やかな情報発信を行った。また、少年の森等において、広場、駐車場の整備などを実施した。</li> <li>・「弘道館・水戸城跡周辺の魅力づくりの推進」として、弘道館東側用地の整備等に向けた取組を進めるとともに、「弘道館・水戸城跡周辺地区における歴史まちづくりの推進（歴史・観光ロード整備等）」として、道路の美装化や無電柱化を実施した。また、「水戸学の道」を紹介する案内板を設置したほか、散策ルートや周辺のグルメ・土産品を掲載した散策マップを作成・配布した。</li> <li>・「世界遺産登録に向けた取組の推進」として、近世日本の重要な教育遺産である弘道館や偕楽園の世界遺産登録に向けて、普及啓発事業を行うとともに、日本遺産の魅力発信を実施した。</li> </ul>
<p><b>【総合戦略における事業の実施割合】</b> 実施事業数/計画事業数 = 8/8</p>		<p><b>2019（令和元）年度 of 取組方針</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・千波湖等におけるライトアップを継続して実施するとともに、水戸市偕楽園（千波公園等）整備基本計画に基づく事業を推進し、さらなる魅力の向上を図る。</li> <li>・弘道館東側用地の整備や歴史的建造物である水戸城大手門復元整備を進め、水戸の顔にふさわしい歴史まちづくりに努める。</li> </ul>



具体的施策（４） 水と緑の潤いある拠点の形成

重要業績評価指標（KPI）

項目	基準値 (2014年度)	期待値	実績値	目標値	達成状況
		(2018年度)	(2018年度)	(2019年度)	(2018年度)
森林公園来園者数（年間）	160,000人	198,400人	193,550人	208,000人	70%
七ツ洞公園来園者数（年間）	59,345人	76,669人	72,350人	81,000人	60%

項目	達成度	評価
森林公園来園者数 (年間)	B	市民参加の植樹祭やりんご狩りツアー、学官連携による集客プロジェクト事業など、豊かな自然環境を生かしたイベントを積極的に展開したことにより、来園者数が増加しており、引き続き、さらなる魅力づくりを図る必要があるものと評価する。
七ツ洞公園来園者数 (年間)	B	英国式庭園を生かしたイベントの開催や施設の整備により、誘客や魅力発信に取り組んだことにより、来園者数が増加しており、引き続き、さらなる魅力づくりを図る必要があるものと評価する。
2018（平成30）年度 of 取組事業		取組の概要等
<ul style="list-style-type: none"> <li>森林公園周辺における自然資源等を活用した魅力づくりの推進</li> <li>七ツ洞公園の魅力づくり</li> <li>水戸の花絵巻事業の推進</li> <li>魅力ある景観の形成</li> <li>森林公園の整備</li> <li>大塚池公園の整備</li> <li>千波湖の水質浄化の推進</li> </ul>	<p><b>【主な事業の概要】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>「森林公園周辺における自然資源等を活用した魅力づくりの推進」として、市民参加の森づくり植樹祭や木葉下金山とりんご（梨）狩りツアー事業、農業体験及び農産物加工体験事業などを実施するとともに、「森林公園の整備」として、トレイルランニングコースに距離表示付案内板を設置した。また、常磐大学との連携による集客プロジェクト事業を実施した。</li> <li>「七ツ洞公園の魅力づくり」として、英国式庭園を生かしたイベント等を開催し、魅力の発信に取り組むとともに、複合遊具の整備を実施し、子育て世帯の来園促進を図った。</li> </ul>	
<p><b>【総合戦略における事業の実施割合】</b> 実施事業数/計画事業数 = 7/7</p>		<p>2019（令和元）年度 of 取組方針</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>森林公園周辺における市民参加の森づくり植樹祭や木葉下金山とりんご（梨）狩りツアー、農業体験及び農産物加工体験等を継続して実施するとともに、来園者の利便性を高める環境整備を推進する。</li> <li>七ツ洞公園については、園路のバリアフリー化を行い、多世代にわたり利用しやすい環境を整備する。引き続き、民間主体の実行委員会を支援し、英国式庭園を生かしたイベントやPR活動等の充実を図るなど、魅力・認知度の向上に向けた取組を進める。</li> </ul>

〈基本目標Ⅲ 水戸の未来をリードする若い世代の夢や希望を応援する〉

数値目標

(基準値)

(目標値)

- 合計特殊出生率 1.51 → 1.60
- 保育所待機児童数 158人 → 待機児童ゼロ (2017年度)

具体的施策(1) 若い世代へのキャリア支援の推進

重要業績評価指標 (KPI)

項目	基準値 (2014年度)	期待値 (2018年度)	実績値 (2018年度)	目標値 (2019年度)	達成状況 (2018年度)
UJIターン企業説明会参加企業数(年間)	—	40	54	50	108%
地元企業セミナー参加者数(年間)	—	160	—	200	—

項目	達成度	評価
UJIターン企業説明会参加企業数(年間)	A	県等との連携によるUJIターン促進事業や市内企業の情報発信を行ったほか、新たな企業説明会の開催により、目標値を上回る参加企業数に至ったものと評価する。
地元企業セミナー参加者数(年間)	D	事業化に向けた検討を中心に進めたことから、企業セミナーは未開催となっており、引き続き、企業セミナーの開催はもとより、地元企業における雇用促進に資する取組を早期に進めていく必要があるものと評価する。
2018(平成30)年度取組事業		取組の概要等
<ul style="list-style-type: none"> <li>・UJIターンの促進</li> <li>・地元企業の雇用の促進</li> <li>・創業支援の充実</li> <li>・ベンチャービジネスの育成・支援</li> <li>・若年者及び女性等の雇用の促進</li> <li>・産学官連携による産業の活性化</li> <li>・女性の活躍推進に向けた環境づくり</li> <li>・認定農業者等担い手の確保・育成</li> <li>・ボランティア団体、NPO等の活動の活性化</li> <li>・困難を抱える若者への社会参加の促進</li> <li>・キャリア教育の推進</li> </ul>		<p>【主な事業の概要】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・「UJIターンの促進」として、県外の大学に進学した地元出身者等に対する企業説明会の開催など、県やハローワークとの連携事業を実施するとともに、企業ガイドブックについて、県内の高校・大学のほか、都内の大学等へ配布し、市内企業の情報発信を行った。さらに、株式会社セブンイレブン・ジャパンにおけるUIターン支援制度について、市ホームページにおいてPRを行った。</li> <li>・「地元企業の雇用の促進」として、インターンシップの実施に取り組む企業の支援、市内中高生及び大学生等を対象とした体験型職業セミナーの開催など、人材の育成・確保に向けた検討を行った。</li> </ul>
		2019(令和元)年度取組方針
		<ul style="list-style-type: none"> <li>・UJIターン企業説明会及び地元企業セミナーの実施に向けて、他市事例等の調査や関係団体との話し合いを進めるとともに、高校や大学等と連携しながら、高校生・大学生向けに市内企業・事業所を紹介する冊子を配布するほか、企業見学バスツアーを実施するなど、地元企業の情報発信に取り組む。</li> </ul>
<p>【総合戦略における事業の実施割合】</p> <p>実施事業数/計画事業数=11/11</p>		

具体的施策（２） 安心して子どもを産み育てることのできる環境の充実

重要業績評価指標（KPI）

項目	基準値 (2014年度)	期待値	実績値	目標値	達成状況
		(2018年度)	(2018年度)	(2019年度)	(2018年度)
市民センター子育て広場開設数（累計）	10か所	18か所	20か所	20か所	100%
開放学級における待機児童がいない学校数（累計）	24校	31校	18校	33校	-67%

項目	達成度	評価
市民センター子育て広場開設数（累計）	A	計画的な開設により、目標値に達する開設数に至ったものと評価する。
開放学級における待機児童がいない学校数（累計）	D*	<p>計画的な施設整備とあわせ、支援員の確保に取り組んだものの、6年生までの受入れに向けて、受入対象学年を段階的に拡大したことから、待機児童数が増加し、待機児童がいない学校数が期待値に達していない状況である。引き続き、施設整備の推進とあわせ、支援員の確保を図っていく必要があるものと評価する。</p> <p>※〈受入対象学年の拡大の状況等〉</p> <p>対象：2014年度 小学校3年生（全33校） 2018年度 小学校4年生（13校）、小学校5年生（6校） 小学校6年生（14校）</p> <p>施設整備：専用棟新設 7棟（2015年度から2018年度） 入級者数：2014年度末 2,619人 2018年度末 3,224人（605人増） 待機児童数：2014年度末 52人 2018年度末 111人（59人増） 支援員数：2014年度末 440人 2018年度末 572人（132人増）</p>
2018（平成30）年度の取組事業		取組の概要等
<ul style="list-style-type: none"> <li>・保育所待機児童の解消</li> <li>・多様な子育て支援の推進 <ul style="list-style-type: none"> <li>▶交流の場の提供</li> <li>▶子育てニーズへのきめ細かな対応</li> <li>▶ひとり親家庭等への支援の充実</li> </ul> </li> <li>・放課後児童対策の推進</li> <li>・妊産婦支援の充実</li> <li>・出産・子育てしやすい医療環境づくりの推進</li> <li>・結婚支援の推進</li> <li>・オープンデータ活用による女性の活躍の推進</li> </ul>		<p>【主な事業の概要】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・「多様な子育て支援の推進」として、市民センター子育て広場を4か所開設し、地域団体の協力により、乳幼児と保護者同士が交流する居場所づくりを推進した。</li> <li>・「放課後児童対策の推進」として、開放学級における待機児童解消及び受入対象学年の拡大に向け、緑岡小学校において開放学級専用棟を整備するとともに、梅が丘、鯉淵、妻里小学校において専用教室を整備した。また、支援員の確保のため、市ホームページやハローワーク、茨城大学や常磐大学等での募集のほか、関係団体と連携した全小中学校の児童の保護者に対する募集の周知等を図った。</li> </ul>
		2019（令和元）年度の取組方針
		<ul style="list-style-type: none"> <li>・乳幼児と保護者同士の交流の場を提供するため、引き続き、市民センター子育て広場を開設するとともに、利用者をさらに増やすために、周知・運営内容等の充実に努める。</li> <li>・開放学級について、待機児童の解消及び受入対象学年の拡大に向け、計画的な施設整備や支援員の確保を図るとともに、モデル事業として、1校の開放学級事業の運営の民間委託を実施する。</li> </ul>
		<p>【総合戦略における事業の実施割合】</p> <p>実施事業数/計画事業数 = 9/9</p>

具体的施策（3） 未来を切り拓く力を育む水戸スタイルの教育の推進

重要業績評価指標（KPI）

項目	基準値 (2014年度)	期待値	実績値	目標値	達成状況
		(2018年度)	(2018年度)	(2019年度)	(2018年度)
放課後学力サポート事業導入校数 (累計)	1校	12校	23校	15校	157%
学力診断のためのテスト(県)の総合 得点の平均点(対県平均との比較)	[小6]+1.9点 [中3]+12.5点	[小6]+5.2点	[小6]+1.0点	[小6]+6点	-22%
		[中3]+19.3点	[中3]+4.8点	[中3]+21点	-91%

項目	達成度	評価
放課後学力サポート事業導入校数(累計)	A	学校支援ボランティアの活用を引き続き進めたことにより、目標値を上回る導入校数に至ったものと評価する。
学力診断のためのテスト(県)の総合得点の平均点(対県平均との比較)	[小6]D [中3]D	さきがけプラン(学力向上事業)の推進により、小学校、中学校ともに県平均を上回ったものの、期待値には達しなかった。引き続き、事業の充実を図りながら、より実態を踏まえた学力の向上に努めていく必要があるものと評価する。
2018(平成30)年度の取組事業		取組の概要等
<ul style="list-style-type: none"> <li>水戸スタイルの教育の推進</li> <li>まごころプランの推進</li> <li>さきがけプランの推進</li> <li>ふれあいプランの推進</li> <li>体力向上プログラムの推進</li> <li>郷土水戸に関する教育の充実</li> <li>国際理解教育の推進</li> <li>芸術教育の推進</li> <li>情報教育の推進</li> <li>自然体験学習の充実</li> <li>児童生徒や保護者の悩み・不安解消のための相談の充実</li> <li>一人一人の教育ニーズに応じた特別支援教育の充実</li> <li>学校における食育の推進</li> <li>学校における消費者教育の推進</li> <li>大学等との連携による学校教育活動の推進</li> </ul>		<p><b>【主な事業の概要】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>「さきがけプランの推進(学力向上の推進)」として、全校に学力向上サポーターを配置するとともに、中学校1,2年生を対象に数学の補充指導を実施した。また、次世代エキスパート育成事業として、小学校6年生及び中学校1年生の希望者を対象に6つのコースで全6回の学習会を実施するとともに、学習習慣確立のためのパンフレットの市立小学校新入生全家庭への配布、モデル校23校における放課後学力サポート事業を行った。さらに、冬季休業中に中学校2,3年生の希望者を対象に市内4か所の市民センターで数学の学習相談を実施した。</li> <li>全小学校において、小学校4年生を対象とした家庭学習スタートノートを配布し、活用を図るとともに、小学校5年生のほか、新たに中学校2年生を加えて、学習定着状況調査(年2回)を実施し、中学校区ごとに、教員が課題の分析、授業改善等に取り組むなど、学力向上に努めた。</li> </ul>
		2019(令和元)年度の取組方針
<p><b>【総合戦略における事業の実施割合】</b> 実施事業数/計画事業数=15/15</p>		<ul style="list-style-type: none"> <li>放課後学力サポート事業を拡充(28校)するとともに数学の学習相談の実施箇所を拡大(6箇所)するなど、各事業の充実を図る。</li> <li>学習定着状況調査や学力診断のためのテスト結果を中学校区ごとに分析し、各学校の実態と課題を捉え、校内研修や授業改善を進めるとともに、小中学校が一体となった学習改善に努める。</li> <li>各学校への指導主事の派遣をより一層進め、教員とともに学校、学年、教科ごとの課題を焦点化し、学力向上に取り組む。</li> </ul>

具体的施策（４） ワーク・ライフ・バランスの推進

重要業績評価指標（KPI）

項 目	基準値 (2014年度)	期待値	実績値	目標値	達成状況
		(2018年度)	(2018年度)	(2019年度)	(2018年度)
ワーク・ライフ・バランスの推進に関する市民・事業所への研修会等の実施回数（累計）	2回	20回	45回	25回	187%
仕事と子育ての両立に向けた就職応援セミナー参加者数[水戸市在住者]（年間）	35人 (2014年)	103人 (2018年)	53人 (2018年)	120人 (2019年)	21%

項 目	達成度	評 価
ワーク・ライフ・バランスの推進に関する市民・事業所への研修会等の実施回数（累計）	A	積極的な研修会の企画立案により、目標値を上回る回数の研修会実施に至ったものと評価する。
仕事と子育ての両立に向けた就職応援セミナー参加者数[水戸市在住者]（年間）	C	期待値には達しなかったものの、ハローワーク水戸主催による就職応援セミナーへの参加者は増加しており、相互の連携をより一層強化し、効果的な周知を行いながら事業を実施していく必要があるものと評価する。
2018（平成30）年度 of 取組事業		取組の概要等
<ul style="list-style-type: none"> <li>企業労務改善の支援</li> <li>女性の活躍推進に向けた環境づくり</li> <li>育児休業の取得の促進</li> </ul> <div style="border: 1px solid orange; padding: 5px; margin-top: 10px;"> <p>【総合戦略における事業の実施割合】 実施事業数/計画事業数=3/3</p> </div>		<p>【主な事業の概要】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>「企業労務改善の支援」として、ワーク・ライフ・バランスの推進（家庭と仕事を両立できる環境づくり）を図るため、関係機関と連携を図り、市民・事業所などへの研修会等を実施した。</li> <li>「女性の活躍推進に向けた環境づくり」として、女性のための就業支援講座などを実施するとともに、ハローワーク水戸と連携し、仕事と子育ての両立を目指すマザーズ就職応援セミナーを実施した。</li> </ul>
		2019（令和元）年度 of 取組方針
		<ul style="list-style-type: none"> <li>企業労務の改善に向け、県をはじめとした関係機関と連携しながら、引き続き、市民・事業所への研修会等を実施するとともに、支援のあり方の検討を進める。</li> <li>ハローワーク水戸においては、仕事と子育ての両立に向けた就職応援セミナーの充実を図っているところであり、引き続き、連携してセミナー等を実施する。</li> </ul>

〈基本目標Ⅳ 安全で安心、誰もが快適に暮らせるまちを創る〉

数値目標

(基準値)

(目標値)

○生活環境の満足度 73.5% → 78%

具体的施策（１） 都市機能の集積と交通ネットワークの形成

重要業績評価指標（KPI）

項目	基準値 (2014年度)	期待値 (2018年度)	実績値 (2018年度)	目標値 (2019年度)	達成状況 (2018年度)
中心市街地の歩行者通行量	109,800人	123,000人	106,543人	126,300人	-20%
路線バス利用者数(1日当たり)	29,656人	32,011人	32,589人 (2017年度)	32,600人	99%

項目	達成度	評価
中心市街地の歩行者通行量	D	まちなか居住の促進を図る子育て世帯のまちなか住替え支援制度をはじめ、商業施設等の立地促進事業、公共交通の利用促進、歩いて楽しめる道路空間の整備の推進など、様々な取組を進めたものの、期待値には達しなかったことから、要因を十分検証し、効果的に取り組んでいく必要があるものと評価する。
路線バス利用者数 (1日当たり)	A	バス事業者との連携による、公共交通マップの作成や路線バス体験学習事業の実施などの取組により、期待値を上回る路線バス利用者数に至ったものと評価する。
2018（平成30）年度の取組事業		取組の概要等
<ul style="list-style-type: none"> <li>まちなか交通体系の確立                             <ul style="list-style-type: none"> <li>まちなか公共交通の利用促進</li> <li>自転車利用環境の整備</li> <li>新たなバリアフリー基本構想の策定及び施策の推進</li> </ul> </li> <li>地域公共交通の再編</li> <li>まちなか住替えの支援</li> <li>まちなか共同住宅の整備の促進</li> <li>都市機能の集約・再配置の推進</li> <li>水戸駅北口地区のまちづくりの推進</li> <li>新たな市民会館の整備</li> <li>泉町1丁目北地区市街地再開発事業等の推進</li> <li>歩いて楽しめる道路空間の整備</li> </ul>		<p><b>【主な事業の概要】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>「新市民会館の整備」として、実施設計を行うとともに、「歩いて楽しめる道路空間の整備」として、南町地区において道路の美化や無電柱化に向けた取組を行った。</li> <li>「地域公共交通の再編」として、バス事業者とバス路線の再編に向けた合意形成に至り、水戸市地域公共交通再編実施計画を策定した。また、公共交通マップの作成や路線バス体験学習事業の実施など、公共交通の利用促進に取り組んだ。</li> </ul>
		2019（令和元）年度の取組方針
		<ul style="list-style-type: none"> <li>水戸市立地適正化計画をはじめとする各種計画に基づき、様々な施策を推進し、一層の都市機能誘導及び居住促進を図るとともに、歩いて楽しめる道路空間整備を進める。</li> <li>再編したバス路線の利用促進を図るとともに、利用実態を把握し、効果の検証等を行う。また、水戸市公共交通基本計画に位置付けた施策を実施し、引き続き、利用促進や利便性の向上に取り組む。</li> </ul>
<p><b>【総合戦略における事業の実施割合】</b> 実施事業数/計画事業数=11/11</p>		

具体的施策（２） 既存ストック（住宅等）の再生、利活用

重要業績評価指標（KPI）

項目	基準値 (2014年度)	期待値	実績値	目標値	達成状況
		(2018年度)	(2018年度)	(2019年度)	(2018年度)
住宅リフォーム助成件数（累計）	—	552件	253件	690件	37%
J T I（移住・住みかえ支援機構）マイホーム借上げ制度の市内取扱店舗数（累計）	2件	5件	3件	6件	25%

項目	達成度	評価
住宅リフォーム助成件数（累計）	C	期待値には達しなかったものの、住宅リフォーム助成件数は増加しており、関係機関との連携を図りながら、支援制度の利用促進に向けた取組をより一層展開していく必要があるものと評価する。
J T I（移住・住みかえ支援機構）マイホーム借上げ制度の市内取扱店舗数（累計）	C	期待値には達しなかったものの、市内取扱店舗数は増加しており、マイホーム借上げ制度の周知及び利用促進に向けた取組をより一層進めていく必要があるものと評価する。
2018（平成30）年度を取組事業		取組の概要等
<ul style="list-style-type: none"> <li>住宅リフォームの促進</li> <li>住生活支援情報の提供</li> <li>市営住宅の建替え及び長寿命化型改修の推進</li> <li>民間住宅活用型市営住宅の供給</li> <li>水戸駅北口駅前広場の再整備</li> </ul>	<p><b>【総合戦略における事業の実施割合】</b> 実施事業数/計画事業数= 5/5</p>	<p><b>【主な事業の概要】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>「住宅リフォームの促進」として、既存住宅ストックの活用による住環境整備の向上及び地域経済の振興を図るため、市内施工業者による住宅リフォームを行った者に対して、工事費用等の一部を助成した。</li> <li>「住生活支援情報の提供」として、J T I（移住・住みかえ支援機構）マイホーム借上げ制度などの住生活支援に係る情報提供を図るため、J T Iの制度周知イベントとしてマイホーム活用セミナーを開催した。また、空き家の利活用について弁護士等が相談に応じる空き家相談会を同時開催した。</li> </ul>
		2019（令和元）年度を取組方針
		<ul style="list-style-type: none"> <li>既存ストックの活用や住宅リフォーム市場活性化による地域経済の振興に有効であることから、住宅リフォームの支援事業の活用促進に向け、関係機関と連携した取組などを一層推進する。</li> <li>空家の未然防止等、既存ストックの活用により有効であることから、住生活支援情報の提供として、マイホーム活用セミナーの開催などを継続して実施する。</li> <li>水戸市空家等対策計画に位置付けた施策を推進し、空家等の発生の抑制、流通・利活用、適正管理に努める。</li> </ul>

具体的施策（３） 住み慣れた地域で暮らし続けられる環境づくりの推進

重要業績評価指標（KPI）

項目	基準値 (2014年度)	期待値 (2018年度)	実績値 (2018年度)	目標値 (2019年度)	達成状況 (2018年度)
水戸市安心・安全見守り隊参加団体・事業者数（累計）	88 団体等	114 団体等	178 団体等	120 団体等	281%
公的病院などの救急医療等に係る医師数	261 人	261 人	280 人	261 人	—

項目	達成度	評価
水戸市安心・安全見守り隊参加団体・事業者数（累計）	A	積極的な参加呼びかけ等を行ったことにより、参加団体・事業者数は目標値を上回り、市民の安心・安全を守る活動が着実に行われたことから、成果があったものと評価する。
公的病院などの救急医療等に係る医師数	A	市内公的医療機関への支援等の取組により、目標値を上回る医師数を確保できたものと評価する。
2018（平成30）年度を取組事業		取組の概要等
<ul style="list-style-type: none"> <li>・地域コミュニティ活動の活性化</li> <li>・ボランティア団体，NPO等の活動の活性化</li> <li>・高齢者等の外出支援策の推進</li> <li>・災害時要配慮者支援の充実</li> <li>・地域包括システムの構築に向けた取組の推進</li> <li>・地域見守り・支えあいの推進</li> <li>・多世代交流の推進</li> <li>・緊急診療体制の充実</li> <li>・医療・福祉分野における人材の確保，雇用の促進                             <ul style="list-style-type: none"> <li>▶産婦人科等の医師の確保</li> <li>▶看護師の確保</li> <li>▶介護従事者の確保</li> <li>▶保育士の確保</li> </ul> </li> <li>・生涯学習のしやすい環境づくりの推進</li> <li>・消費生活の向上</li> <li>・道路・公園ボランティアサポートの推進</li> </ul>		<p>【主な事業の概要】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・「地域見守り・支えあいの推進」として、高齢者、障害者や子どもなど支援を必要とする方が、住み慣れた場所で安心して暮らせるように、地域をさりげなく、ゆるやかに見守る水戸市安心・安全見守り隊の参加団体・事業者の増加に向けた取組を実施した。</li> <li>・「医療・福祉分野における人材の確保，雇用の促進」として、産婦人科等の医師の確保を図るため、県央・県北地域の周産期医療を担う地域周産期母子医療センター（水戸赤十字病院）に対する支援などを行うとともに、大学病院等の協力を得て、水戸市休日夜間緊急診療所の小児科医の確保を図った。</li> </ul>
		2019（令和元）年度を取組方針
		<ul style="list-style-type: none"> <li>・地域の団体や事業者などが行政と連携しながら、地域をゆるやかに見守る水戸市安心・安全見守り隊の取組は、一定の成果を上げており、高齢者やその家族が安心して暮らせるよう、本事業を継続して実施するとともに、さらなる拡大に努める。</li> <li>・安定的な周産期医療体制の確保や水戸市休日夜間診療所運営に寄与する事業であることから、地域周産期母子医療センター（水戸赤十字病院）の支援とともに、大学病院等と連携した水戸市休日夜間緊急診療所の小児科医の確保に向けた取組を継続して実施する。また、医学生の修学資金や医療機関の開設に対する支援制度の活用を促進するなど、小児科医や産婦人科医等の育成・確保に向け、地域医療の拡充を図る。</li> </ul>
<p>【総合戦略における事業の実施割合】</p> <p>実施事業数/計画事業数=15/15</p>		



具体的施策（４） 危機対応力・防災力の高い体制づくりの推進

重要業績評価指標（KPI）

項目	基準値 (2014年度)	期待値	実績値	目標値	達成状況
		(2018年度)	(2018年度)	(2019年度)	(2018年度)
自主防災組織による防災訓練等の参加者数	8,000人 (2012年度)	9,600人	14,039人	10,000人	302%
浸水被害箇所数	201か所	127か所	204か所	108か所	-3%

項目	達成度	評価
自主防災組織による防災訓練等の参加者数	A	各地区の防災組織の活動支援をはじめ、いっせい防災訓練や各種防災教室の実施に継続的に取り組んだことにより、市民の防災意識の高揚が図られ、目標値を上回る参加者数となったものと評価する。
浸水被害箇所数	D※	被害箇所の集中的な整備を進めているものの、解消に複数年かかる継続的事業の実施が多かったことや、局地的な集中豪雨により、新たな浸水被害箇所が発生したため、基準値より箇所数が増加した。引き続き、計画的な対策箇所の整備に取り組むなど、浸水被害の軽減に努める必要があるものと評価する。 <b>※〈浸水被害箇所数の状況〉</b> 浸水被害箇所数：201か所 ⇒ 264か所（63か所増） 被害解消数：累計60か所（15か所/年度）
2018（平成30）年度 of 取組事業		取組の概要等
<ul style="list-style-type: none"> <li>市民協働による地域防災の推進</li> <li>災害時要配慮者支援の充実</li> <li>次世代防災リーダーの育成</li> <li>水戸市雨水排水施設整備プログラムの推進</li> <li>民間住宅・建築物の耐震化等の促進</li> </ul>	<b>【主な事業の概要】</b> <ul style="list-style-type: none"> <li>「市民協働による地域防災の推進」として、各地区の防災活動費の支援や自主防災組織による防災訓練等の積極的な促進を図るとともに、地域等と連携し、いっせい防災訓練を実施した。また、いっせい防災訓練の実施にあわせ、新庁舎の防災機能を活用した災害対策本部設置・運営訓練などを実施した。</li> <li>「水戸市雨水排水施設整備プログラムの推進」として、都市下水路や排水路、公共下水道、側溝、集水桝等の計画的な整備を推進するとともに、既存施設の機能確保に向けた取組などを実施した。</li> </ul>	
<b>【総合戦略における事業の実施割合】</b> 実施事業数/計画事業数 = 5/5		<b>2019（令和元）年度の取組方針</b> <ul style="list-style-type: none"> <li>市民協働による地域防災を推進するため、引き続き、自主防災組織による防災訓練等を積極的に促進するとともに、より実践的かつ効果的な訓練となるよう努め、参加者数の向上を図る。</li> <li>引き続き、浸水被害の早期軽減・解消を図るため、より効率的、効果的な対策手法を検討し、都市下水路や排水路、公共下水道等の整備や既存施設の機能確保に向けた取組等を進め、総合的な雨水対策を推進する。</li> </ul>

具体的施策（５） 自主・自立性の強化と広域連携による都市力向上

重要業績評価指標（KPI）

項目	基準値 (2014年度)	期待値	実績値	目標値	達成状況
		(2018年度)	(2018年度)	(2019年度)	(2018年度)
茨城県央地域定住自立圏における連携事項数	—	8項目	8項目	10項目	80%
北関東中核都市連携会議における連携事業数	—	4事業	4事業	5事業	80%

項目	達成度	評価
茨城県央地域定住自立圏における連携事項数	A	医療、福祉、地域公共交通、産業振興等の分野において広域的な連携を図ることができ、県央地域全体の活性化に寄与できたものと評価する。
北関東中核都市連携会議における連携事業数	A	北関東 400 kmブルベや物産フェアの開催、映画等を活用した各市PRに向けた取組など、連携事業を進めたことにより、北関東圏域全体の魅力発信に寄与できたものと評価する。
2018（平成30）年度を取組事業		取組の概要等
<ul style="list-style-type: none"> <li>茨城県央地域定住自立圏の取組の推進</li> <li>北関東中核都市連携会議における連携事業の推進</li> <li>中核市移行に向けた取組の推進</li> </ul>	<p><b>【総合戦略における事業の実施割合】</b> 実施事業数/計画事業数= 3/3</p>	<p><b>【主な事業の概要】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>「茨城県央地域定住自立圏の取組の推進」について、県央地域首長懇話会及び定住自立圏共生ビジョン懇談会における協議を進め、平成28年11月に水戸市と近隣8市町村において策定したビジョンに基づく事業を推進した。</li> <li>「北関東中核都市連携会議における連携事業の推進」について、4市の魅力を広くPRするため、北関東400kmブルベや首都圏における物産フェアを開催するとともに、各市の魅力を発信する動画コンテストの募集を開始したほか、市ホームページやSNSを活用し、各市の情報等の相互発信を行った。</li> </ul>
		<p><b>2019（令和元）年度を取組方針</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>水戸市と近隣8市町村において策定した茨城県央地域定住自立圏共生ビジョンに基づく各種事業を着実に実行するとともに、必要に応じて内容の見直しを行うなど、適切な進行管理と評価を行いながら、取組内容の充実を図り、持続可能な圏域づくりを推進する。</li> <li>北関東中核都市連携会議における連携事業として、引き続き、北関東400kmブルベや首都圏における物産フェアを開催するとともに、動画コンテストの募集を通じたインバウンド観光の推進を図るほか、映画等を活用した各市PRを進める。</li> </ul>

## 5 水戸のまち創生リーディングプログラム

項 目	基準値 (2014 年度)	期待値	実績値	目標値	達成状況
		(2018 年度)	(2018 年度)	(2019 年度)	(2018 年度)
20～39 歳の人口 (生産年齢人口の概ね前半世代)	62,839 人	60,568 人	57,227 人	60,000 人	-198%

達成度	評 価
D	<p>雇用の創出をはじめ、就業や自主的な起業に向けた支援などに重点的に取り組んだものの、20歳から39歳までの人口は期待値に達しなかった。</p> <p>目標値の達成に向けては、若い世代を引き付け、呼び込める魅力ある生活環境づくりはもとより、ライフスタイルや価値観に応じて働くことができる、活動することができる環境づくりを進め、移住・定住をより一層推進していく必要があるものと評価する。</p>

2019（令和元）年度の取組方針
引き続き、若い世代の働くことができる場、活動することができる場の創出に向け、事業者との連携の下、各種取組のさらなる充実や本市への移住・定住に資する効果的な情報発信等に努めながら、本プログラムを継続する。

### 〈2018（平成30）年度における主な取組〉

#### 1 多様な雇用創出と就業支援

戦略的な取組	主な内容、実績等
産業交流機会の創出	・ビジネスマッチング会開催支援
技術力、競争力強化・支援	・工業振興支援事業(交付件数 12 件)
商店街活性化の推進	・商店街活力アップ事業補助金(交付団体 13 団体) ・商店街活力向上事業補助金(交付団体 1 団体)
企業誘致の促進	・企業誘致活動の推進(誘致件数 1 件)
国際観光の推進	・国際観光の推進 (市内外国人宿泊者数 36,001 人)
観光特産品の魅力向上と観光産業の強化・育成	・優良観光土産品登録制度の活用 (新規登録 7 社 10 品, 再登録 7 社 10 品)
コンベンション誘致活動の推進・強化	・コンベンション誘致推進事業の充実(誘致・支援数 146 件)
農産物のブランド化の推進	・水戸の梅産地づくり事業(梅果樹棚等整備 0.05ha)
地産地消の推進	・地場農産物利用促進事業(「水戸美味」登録店 75 件)
認定農業者等担い手の確保・育成	・青年就農給付金支援事業(交付件数 新規就農者 18 名) ・就農スタートアップ支援制度 (交付件数 新規就農者 1 人)
女性の活躍推進に向けた環境づくり	・女性活躍推進事業

戦略的な取組	主な内容, 実績等
医療・福祉分野における人材の確保, 雇用の促進	<ul style="list-style-type: none"> <li>・介護職員処遇改善加算の給付</li> <li>・周産期及び婦人科医療従事医師雇用補助</li> <li>・休日夜間緊急診療所小児科医師確保</li> <li>・看護師の養成, 確保</li> <li>・保育サービスの充実</li> </ul>

## 2 自主的な起業への支援

戦略的な取組	主な内容, 実績等
創業支援の充実(創業支援事業計画に基づくサポート体制の強化, 創業支援セミナーの開催等)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・創業支援事業(新規創業事業者数 77 人)</li> </ul>
ベンチャービジネスの育成・支援(コワーキングスペースの運営等)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・コワーキングスペースの運営 (登録者: 個人 6 人, 法人 1 件, 利用者 3, 314 人)</li> </ul>
店舗開業・出店の推進(空き店舗対策助成制度による誘致施策)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・空き店舗対策事業(交付件数 7 件)</li> </ul>
遊休不動産を活用したにぎわいづくりの推進(水戸まちなかりノベーション事業)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・インキュベーション空間の整備及びビジネスプランコンテスト採択事業の支援</li> <li>・まちなか広場を活用したマルシェの開催(2回)</li> <li>・新規開業者数 4 人(3店舗)</li> </ul>
既存事業者の事業拡充等への支援	<ul style="list-style-type: none"> <li>・中心市街地における商業施設等の立地促進(交付件数 3 件)</li> </ul>

## 3 創造的な活動への支援

戦略的な取組	主な内容, 実績等
ボランティア団体, NPO等の活動の活性化	<ul style="list-style-type: none"> <li>・協働事業提案制度「わくわくプロジェクト」事業(5事業)</li> <li>・こみっとフェスティバル事業(来場者数 3, 200 人)</li> </ul>
まちなかイベントの開催	<ul style="list-style-type: none"> <li>・南町自由広場を活用したイベントの実施 (イベント件数 11 件, 利用者数 53, 485 人)</li> </ul>
市民主体の芸術文化活動の促進	<ul style="list-style-type: none"> <li>・水戸市芸術祭 (9部門 32 事業実施, 参加者数 38, 443 人)</li> </ul>